

**“サロン+”いきいき体操教室で
免疫力アップを図り新型コロナを払拭しよう！！**

三会場でサロンといきいき体操教室行って来ましたが、3月を持ってR2年度のいきいき体操教室は終了いたしました。サロンは、4月から従来通り健康体操を主体に行いますので、近くの方々にお声掛けください。



3/2 (火) 湯郷渡サロン



3/9 (火) 下母畑サロン



3/12 (金) 上母畑サロン・いきいき体操教室



3/18 (木) 湯郷渡いきいき体操教室



3/18 (木) 下母畑いきいき体操教室



3/12 (金) 上母畑サロン・いきいき体操教室

各いきいき体操教室では、保健福祉課が『脳トレ』として毎回問題を配布して参加者に頭を使わせて柔らかい頭になるように、脳の若返りを図っています。

4月の行事

3日 (土) 13:30 書道教室

14日 (水) 13:30 白菊学級

6日 (火) 9:30 湯郷渡サロン

17日 (土) 13:30 書道教室

講師：廣田智 (理学療法士)

23日 (金) 13:30 ハーモニカ教室

8日 (木) 13:30 ハーモニカ教室

24日 (土) 13:30 書道教室

9日 (金) 9:30 上母畑サロン

講師：廣田智 (理学療法士)

13日 (火) 13:30 下母畑サロン

講師：ニチイ学館



編集後記 令和3年度スタートの月です。コロナ禍で今のところ何もできませんが、ワクチンが摂取されて終息に向かえば皆さんが待ちに待った行事が出来る様になりますね。一日も早く終息することを願っております。

母畑自治センターだより

母衣旗

今月の題字 (290) 小5 関根羽海さん

教育目標

令和3年4月

第573号

「輝け！

発行日

令和3年4月1日

母衣旗」

発行所

母畑自治センター

責任者

センター長 瀬谷 長一

コロナ禍で令和2年度母畑4地区総会開催できず！！

母畑4地区の総会は、コロナ禍で開催できず、書面表決で承認されました。

令和3年度 母畑4地区新役員体制

母畑第一区	区長	添田 博行	副区長	渡邊 健一
上母畑区	区長	関根 正夫	副区長	関根 清信
湯郷渡区	区長	添田 保一	副区長	味戸 芳彦
北山区	区長	大串 政一	副区長	桑沢 政美

組名	世帯数	組長氏名
小田口	13	大野 繁
湯ノ町	9	福田 栄躬
樋田	10	近山 一夫
樋ノ口	10	渡邊 英昭
長石田	9	渡邊 徳男
湯高	9	関根 良

組名	世帯数	組長氏名
前牛沼	9	瀧口 正二
牛沼	12	瀧口 利久
大作	7	福田 光雄
東 恵	8	瀧口 颯太
恵瀬郷	10	福田 勉
七 堀	9	木戸 治
堀 平	11	藁萱 繁一
天升作	13	鈴木 智啓
手 竹	11	関根 憲一

組名	世帯数	組長氏名
前ノ内	3	瀬谷 浩子
湯 坂	12	小林 裕明
前 組	18	永沼 悟
米子平中	9	添田 常勝
米子平下	9	桑沢 三男
米子平上	7	味戸 重二
木戸ノ内	7	川崎 利春
銭 神	10	永沼 雅人

組名	世帯数	組長氏名
菅 関	17	佐久間 英行
高 野	8	桑沢 泰三
羽貴田	16	添田 千吉
村 松	5	大串 一樹
入 山	7	芳賀 久一
荘 柏	12	大串 正典

※令和2年度母畑地区の4区長さん！

一年間大変お世話になりました。

紙面をお借りいたしまして御礼申し上げます。ありがとうございました。

『母畑ふるさとマップ』

(13)

瀬戸の八幡神社について

母畑実年大学講座 湯郷渡サークル

湯郷渡木戸ノ内方面と北山への別れ道左手、三九段の石段を登ると、昭和二三年九月湯郷渡氏子中で奉納した花崗岩の鳥居があり、右に弘化三丙午年十一月吉日奉納の石灯籠、左に初老記念の石御手洗がある。さらに、三十段上ると左右一対永沼幸四郎外の人々が昭和十五年十一月三日奉納した石灯籠がある。最後の二八段上ると六十四坪ある広い境内に着く。十坪の拝殿には昭和五年十月三十日教育勅語御下賜四十年記念に母畑尋常高等小委学校の先生・児童が一人一字づつ謹書し奉納した額。昭和九年九月十九日湯郷渡青年団が奉納した御祭礼舞師匠芳名札に歌・笛・四方堅・御神楽・白鍬・御獅子舞・御獅子歌の師匠名があり、青年が中心になって夜間四日練習して毎年奉納していたと言う。また、神社名の額が三枚あり、最大は明治三十年九月奉納、源寿秀謹書とある。本殿は神明造で縦五尺、横四尺に彫刻が施され、四坪の雨覆いがなされている。

磨崖仏をたずねて

…… 先月号より ……

小平祐心さんの語るところによると、この山の自然石を利用して三十三観音の彫造されたという。そのほかいろいろと話してくれた小平祐心さんの言葉から考察して、この磨崖仏は、平安時代後期の作とも考えられる。一〇五一年に朝廷は、源頼義を陸奥守に任じ奥州を鎮定。その後一〇八三年に頼義の子源義家（八幡太郎）が陸奥守とし奥州に入国している。一〇九七年には、苦戦を重ねて奥州を平定した。この時代の戦乱では眼をそむける様な殺りくが各地に展開され、戦乱後の武將は、その地に起こった殺伐と血腥い戦死者の慰霊と自分自身のすさんだ心を直すために石仏を彫造させ供養した例が多くあるが、蝦夷岳山麓の自然石に見るこの磨崖仏も、こうした時代に義家が、当時の仏師に命じて彫刻し、この僻地に残したものでないだろうか。その後幾星霜の永い間、修験行者に守られ、または忘却され、幾百年もこの三十三観音の観音菩薩像がひたすら世俗間に於て、時の移り替わりを見守って来たことであろう。今にして、むかしの聖地の面影がほうふつと浮かんでくる思いがする。

仏教による三十三観音とは、種々さまざまの国土に、種々の身を現じて諸々の苦悩になやむ一切衆生を救済す応現身としての観音で顕教観音といわれている。像容の表現も自由であるところから、古くから知られてきた観音である。三十三観音の尊名は次のとおりである。

楊柳(ようしゅう)、龍頭(りゅうず)、持経(ちけい)、円光(えんこう)、遊戯(ゆうぎ)、白衣(びやくえ)、蓮臥(れんが)、滝見(たきみ)、施薬(せやく)、魚籃(ぎょらん)、徳王(とくおう)、水月(すいげつ)、青頸(せいけい)、威徳(いとく)、延命(えんめい)、衆宝(しゅほう)、岩戸(いわど)、能静(のうじょう)、阿耨(あのく)、阿摩堤(あまたい)、葉衣(ようえ)、瑠璃(るり)、多羅尊(たらしん)、蛤(こがら)、六時(ろくじ)、普慈(ふじ)、馬郎婦(めらうぶ)、合掌(がっしょう)、一如(いちに)、不二(ふじ)、持蓮(ぢれん)、灑水(しゃすい)の各観音。観音菩薩が種々に変化し、三十三の化身を生ずるの思想から、後世俗間に於て三十三観音の成立を見た。……おわり……



9 八幡神社



母畑字瀬戸

第2回自主防災部会開催

3/6(土) 13:30~第2回母畑自主防災部会(部会長 角田保寿)を開催した。会議に先立ち角田部会長と瀬谷自治協議会長より挨拶を頂き、角田部会長の進行で協議に入った。まず、自主防災部会員の認識を各自持って頂く為に部会員全員に防災ヘルメット、ベスト等を貸与した。次に石川町防災マップを配布し、自分の住んでいる所あるいは周囲に危険箇所・場所がないか見て頂き、ある場合には防災マップに明示し母畑自治センターへ3月末までに提出をお願い致しました。また、石川町防災対策室で母畑自治センター駐車場内に防災倉庫を設置して頂きました。倉庫内はまだ防災備品が完備されていませんが、これから順次補充されて行くと思います。



ヘルメット、ベストを装着し防災部会全員で記念撮影

石川町防災倉庫